

印章メーカーの谷川商事(市川三郷町岩間、谷川尚社長)は、桜や桔梗などのデザインをあしらった印鑑ケースなど六アイテムを「和」シリーズとして売り出す。同社の主力商品として販売を再開し、充実した品ぞろえで売り上げ増を図る。

同シリーズは女性がターゲット。ピンクやシルバーなどの淡い色味でコーディネートを施した商品に、桜や桔梗、梅、紅葉をデザインした。

朱肉不要の浸透ネーム印(直径九ミ)を取り付けたボールペンや携帯電話ストラップのほか、訂正印(同五ミ)とセット

印鑑入れ、ストラップ... 谷川商事

「和」モチーフに6商品



淡色で桜や紅葉あしらう

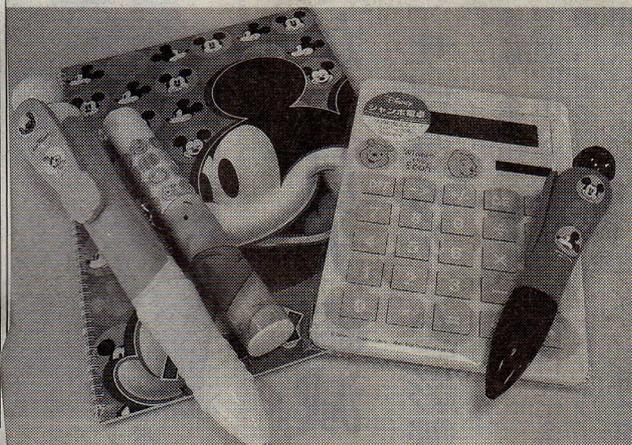
した商品などがある。価格には五百二十五円から約十数万個の出荷量で、同社によると、二年前をモチーフにした商品へ、売上高は約五千万円。製造した同デザインの関心が高いことから、シリーズ全体の年間売上高は約二億円を見込んでいる。七月四〜六日には東京ビッグサイトで開催される「国際文具・紙製品展」で紹介する。

同デザインのアイテムのシリーズ化を決めた。現在、印鑑ケースは年

谷川商事が主力商品として販売する「和」シリーズ

谷川商事がジャンボ文具第3弾

「ディズニー」5種類展開



ディズニーのキャラクターを使用したジャンボ文具

印章メーカーの谷川商事(市川三郷町岩間、谷川尚社長)は、ディズニーの人気キャラクター「ミッキーマウス」「クマのプーさん」「ステイッチ」を使用したジャンボ文具シリーズの販売を始めた。

二月の「ハロウィーン」

に続く第三弾。ディズニーキャラクターの著作権を持つサンスター文具(東京)と提携し、谷川商事が製造・販売する。

商品は、長さ四十三センチと同二十五センチのボールペンをはじめ、同二十八センチ、直径四センチの円筒型の消しゴム、A3サイズのノーマットのうち二千五百

百八十円(長さ四十三センチと五百円(同二十五センチ)、電卓二千円など。県内ではオギノリバーシティショップینگセンター(中央市)で販売している。初年度の売り上げは三千万円を見込んでいる。

十二月には第四弾として、全国にあるファミリーマートのうち二千五百店舗で新ジャンボ文具シリーズを発売する。新シリーズはB4サイズのトランプを加え、全ハイテムとなる。

ジャンボ文具は昨年七月、オリジナル商品として第一弾を発売。話題性があり、ギフトとしても好評なことから、同社は「今後、観光地の土産品として売り込んでいきたい」としている。

格は、ボールペンが千六